

令和 6 年度
外部評価結果報告書

令和 7 年 2 月
八街市行財政調査会

1 外部評価の目的

八街市が実施する行政評価において、行政内部による事務事業評価に外部の視点を加え、評価における客観性や透明性を確保し、事務事業の改善を推進することを目的に外部評価を実施しました。

2 外部評価員の構成

八街市行財政調査会の職務に基づく外部評価であり、八街市行財政調査会委員は以下のとおりです。

役 職	氏 名	備 考
会 長	関 谷 昇	学識経験者 千葉大学大学院社会科学研究院教授
副会長	京 増 良 男	有 識 者 元八街市議会議員、元八街市監査委員
委 員	玉 川 寛 治	公 募 委 員
委 員	新 宮 護	有 識 者 元二区区長、元成田市立久住小学校長
委 員	日 暮 直 子	有 識 者 元八街市社会教育委員
委 員	行 方 正 夫	有 識 者 元富山区長、元八街市立八街東小学校長

3 外部評価の流れ

(1) 評価対象事務事業の選定

今年度の外部評価では、令和5年度実施事業の内部評価を踏まえ、事務局において成果が出ていないもの、各委員が評価すべきとしたものから、12事業を抽出し、その中から調査会において6事業を選定しました。

(2) 担当課ヒアリング及び評価作業

①事業概要等の説明

担当課から事業概要の説明を受け、事業の内容、課題・問題点等を把握しました。

②質疑応答

事業概要の説明や資料から読み取れない部分は、「質問書」による遣り取りや、質疑応答により疑問点等を解消しました。

③評価

ヒアリングの結果を踏まえ、各事業の今後の方向性等について委員間で議論し、評価を行いました。

4 会議の開催日程

令和6年度八街市行財政調査会の開催日及び主な内容は、以下のとおりです。

回 数	開催日	主な内容
第1回	令和6年 8月29日（木）	・ 外部評価の進め方とスケジュールについて ・ 外部評価対象事務事業の選定
第2回	令和6年 9月27日（金）	・ R5年度外部評価結果への対応方針について
第3回	令和6年10月10日（木）	・ 担当課ヒアリング及び評価作業 (番号1～3)
第4回	令和6年11月 5日（火）	・ 担当課ヒアリング及び評価作業 (番号4～6)
第5回	令和7年 2月17日（月）	・ 外部評価結果報告書の提出

5 外部評価の結果

事業の方向性を、「事業継続」、「事業廃止・休止」、「事業完了」の中から判定しました。

また、「事業継続」と判定した事業については、さらに「拡充」、「現状維持」、「見直し・改善」、「縮小」の中から判定を行いました。

なお、個々の事業評価の過程における委員の主な意見、事業の方向性に関するコメントは、次ページ以降に掲載した「令和6年度外部評価結果」のとおりです。

令和6年度外部評価結果（概要）

番号	事業等名	担当課	評価結果	主 な 意 見 等
1	体育施設整備事業費	教育部 スポーツ振興課	<u>事業継続</u> 見直し・改善	3、4 ページ
2	おやこサロン運営事業費	健康子ども部 子育て支援課	<u>事業継続</u> 見直し・改善	5、6 ページ
3	広報費 (広報やちまた発行事業費)	総務部 秘書広報課	<u>事業継続</u> 現状維持	7、8 ページ
4	道路排水施設整備事業費 流末排水施設整備事業費	建設部 道路河川課	<u>事業継続</u> 見直し・改善	9、11 ページ
5	産業まつり事業費	経済環境部 農政課	<u>事業継続</u> 現状維持	11、12 ページ
6	森林機能対策事業費	経済環境部 農政課	<u>事業継続</u> 現状維持	13 ページ

令和6年度外部評価結果

(担当) 教育部 スポーツ振興課

番 号	1
事業等名	体育施設整備事業費
事業概要	社会体育施設の整備を行い、利用者が安全にスポーツを楽しむ場を提供する。 (施設) 中央グラウンド・北部グラウンド・東部グラウンド・西部グラウンド・南部グラウンド・榎戸サッカー場
主な意見	・夜間照明のあるグラウンドの受電設備が更新の時期を迎えており、いつ壊れてもおかしくない状況だということなので、安全のために早く改修していただくよう調査会としても要望します。 ・中央グラウンドは、八街のシンボルとして十分な施設にしていきたいと思う。 ・人口減少は推計を見ても間違いないので、そういう意味では施設を集約化し、施設自体の効果を高めるような方法もあると思う。 ・利用者の声を吸い上げて、それを集約し、その内容を将来にどう結びつけていくかということが重要である。 ・少子高齢化や人口減少により、使う人は確実に減っていく中で、教育施設やスポーツ施設の目的だけではなかなか難しいため、例えば観光とスポーツをうまく連動させるような発想、考え方が必要。 ・施設の老朽化が進んでいるが、一般財源ではやはり限界があり、なかなか改修が難しいということで、近年出てきてる発想のひとつが「寄附」であり、クラウドファンディングなどによって、企業や市民から、あるいは遠方に住んでいる市内出身者から寄附を募る手法もある。また、官民連携で投資事業をしていく形で、民間から資本を出してもらうようなやり方もある。 ・「協働」という視点で、市民が施設の維持管理にもっと積極的に関わる意識を高めていくことで、稼働率を高めていくことにも繋るので、「協働」の考え方も今後問われてくると思う。 ・今後、社会情勢は必ず変わり、体育施設の果たす役割についての評価も増大するものと考えられますので、その辺に目を向け、すぐできなくても方向性は持っていなければいけない。

事業の方向性	☒ 事業継続 (☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☒ 見直し・改善 ☐ 縮小)
	☐ 事業廃止・休止
	☐ 事業完了
事業の方向性に関するコメント	評価としては、「見直し・改善」とするが、当面は現状を維持しながら、少しずつ工夫して進めていくしかないが、全体的に事業自体がなかなか進展していないという印象を強く受けますので、財源が厳しい中で、どういう手法が良いのかを様々な視点から検討して事業を進めていただきたい。 また、少子高齢化や人口減少が進む中で、中長期的には新たな発想・方法を検討していく必要があり、調査研究などは今からでもはじめられると思うので、そういった今後に向けた準備も合わせて進めていただきたい。 ○見直し・改善策 ・主な意見で示した内容。 ・人口減少や利用者の意見を踏まえた中長期的な視点で、今後の施設の在り方について検討すること。 ・民間企業の活用、観光やイベントとの連動などについて検討し、使用用途の拡大を図ること。 ・官民連携による投資事業やクラウドファンディングなど新たな取り組みについて検討すること。 ・「協働」の視点を積極的に取り入れること。

令和6年度外部評価結果

(担当) 健康子ども部 子育て支援課

番 号	2
事 業 等 名	おやこサロン運営事業費
事 業 概 要	妊娠・出産、子育て中の親が抱く悩みや不安を気軽に相談する場所、また、同じ子育て中の親子との交流の場所を提供し、子育てしやすい環境を整備することにより、子育て親子を応援する。
主 な 意 見	・保護者の方が不安に思われている一般的な質問や相談をまとめて、何か配布したり提示して情報提供していただければ、何か関わりをもった時に、お年寄りの方でも何か協力できることもあると思う。 ・「出張おやこサロン」の開所が午前中となっているが、平日で幼稚園や保育園に通っているこどもが利用する場合、園を休ませて行くということになるので、午後からであれば幼稚園や保育園が終わってから利用できると思うので時間帯を変更してはどうか。 ・利用者の減少については、場所が市役所から朝陽幼稚園に移ったことが原因と言うことであれば、単純に市役所に戻してみると言う考え方もある。 ・過去にも議論したことであるが、同じ様な事業を地域でもやっているし、児童館も同じとは言わないが、類似の事業が行われているので、その住み分けというか、事業の違いというか、それぞれの良さというか、そこをどういう風に区別して、また、連携してこの事業を盛り立てていくのか、それとも一層のこと別の方向に行った方がいいのではないかという見方もあるがそういったところをどう考えていくのかが重要だと思う。 ・子育て支援課と社会福祉協議会で役割が違うのはわかるが、同じ様な事業を行っているのに、その内容を把握していないと言うのは連携がとれていない。 ・回答の中に検討してくれるような内容がないので、正直言うと「もうダメだな」と、次に続くような内容であれば希望もあったんですが、今の受け答えでも、過去の事業をご存知なくて、ちょっとがっかりしましたし、担当の方も部署が変わられたんでしょうけれども、もう少し過去について勉強してきていただきたいという印象を持ちました。

事業の方向性	☒ 事業継続 (☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☒ 見直し・改善 ☐ 縮小) ☐ 事業廃止・休止 ☐ 事業完了
事業の方向性に関するコメント	担当課としては、「おやこサロン」、「児童館」、「社会福祉協議会の事業」など、それぞれの住み分けはされていると思いますし、それぞれの機能も重視されて、それぞれで取り組まれていると主張するが、やっぱり縦割りという印象を受けます。 また、これはそれぞれの間をどう繋ぐかという協働の発想ですが、それぞれがやっているから良いのではなく、どこで誰がどのような事業をやっているのかは、少なくとも把握されていて然るべきことで、「公助」としてそれらをどう繋いでいくのかということを考えていくことが必要です。 前回（令和３年度）の外部評価結果も踏まえると、このまま同じ様なやり方で事業を継続しても利用者は増えていかないし、事業の統合、廃止も視野に入れた見直しが必要であり、この事業を本気で進めていくのであれば、本事業を厳しく評価し、相当やり方を変えないと改善されないと思います。 （参考）令和３年度外部評価結果の要約 ・本事業は児童館や子育て支援センターといった他事業との重複感がみられることから、他事業との統合や事業廃止も視野に入れた見直し、あるいは改善を図るための整理が必要であると考えため、まずは利用状況の調査を行い、事業の必要性を検証されたい。 ○見直し・改善策 ・主な意見で示した内容。 ・児童館や社会福祉協議会（地域）などの類似事業との連携を強化すること。 ・子育て支援団体や高齢者団体などのネットワークとの連動やボランティアの活用について検討すること。 ・他事業との統合や事業廃止も視野に入れ、様々な視点で事業の見直し、改善について検討すること。

令和6年度外部評価結果

(担当) 総務部 秘書広報課

番 号	3
事 業 等 名	広報費（広報やちまた発行事業）
事 業 概 要	・ 市政情報を提供する手段として、広報やちまた、八街市くらしの便利帳／市勢要覧、八街マップの発行により、市民に対し市が行う諸施策や事業などを周知する。 ・ ホームページやSNSを活用し、市が行う諸施策や事業などを正確かつ迅速に情報提供するとともに、市の魅力発信につなげていく。
主 な 意 見	・ 広報紙の個別郵送は、市民サービスの不公平において、ある人には郵送して、ある人には送ってこないみたいな非常に不公平じゃないかという感じがするので、そういう意味では望ましくないと思うので、逆に郵送料を負担してもらう方が平等ではないか。 ・ 個別郵送は、最初のうちは件数が少なかったのが、徐々に件数が増えてきたことでコストもかかってきていると思うので、そうするとやっぱり個別郵送については考える時期にきていると思う。 ・ 広報を郵送してあげるのがサービスだということはわかるが、年間で213万円もかかっているわけで、さらに今後、郵送料も上がってくるので、それなら 返信用封筒を持ってきてくれた人には、まだわかりますが、そうでなければ個別郵送だけはぜひ早急に検討していただきたい。 ・ 広報紙を駅、公民館、図書館などの公共施設、その他スーパーやコンビニなどに置いて、多少、無駄になるかもしれないがそこで取ってもらい、個別郵送は原則としてやめるという様な考えもある。 ・ 資料を見てはじめて広報紙が色々な場所に置いてあると思ったんですが、これを各区長さんや区の方々に周知してもらうと良いと思うし、もうひとつは青年館やコミュニティセンターなどに置くと、結構取ってくれるんじゃないかと思う。 ・ 個別郵送を希望する人をイメージした時に、例えば一人暮らしの高齢者が、広報紙が届くのを楽しみにしているということもあるんじゃないかと考えると誰には送る、誰には送らないと選別するのは難しいことだけどそう言う人もいるんじゃないかと思う。 ・ 広報紙の内容は、今は市の情報をとにかく伝えるというのが第一の目的になっていると思うが、最近、広報紙は市民が作る時代だというように変わってきている。

事業の方向性	☒ 事業継続 (☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 見直し・改善 ☐ 縮小) ☐ 事業廃止・休止 ☐ 事業完了
事業の方向性に関するコメント	基本的にデジタル媒体でホームページに載せているので、それで大半の世帯はカバーできると思うが、やっぱり紙媒体が必要だという世帯とか、色々な事情を抱えた方々がいると思うので、そういう方々に対して広報紙を配るということはあまり不公平感はないと思います。 今後はそういう形で全体としての方針を固め、コストの削減と必要な方に必要な方法で広報を届けられるということが、今後の方向性なのかなと思いますので、事業の方向性としては、現状維持ではありますが、広報紙の配布方法については、市民に届くことが重要であるので、ボランティアによるポスティング、各区の協力による回覧板の配布などについて、引き続き検討していただくとともに、意見の多かった広報紙の個別郵送の在り方については、見直しを図っていただきたいと思います。 また、市の情報だけではなくて、広報紙は「我々がみんなで共有すべき情報なんだよ」という風になっていけば、載せる内容も違ってくるでしょうし、今、市が本当に伝えなければいけない情報は、それこそ必要最低限に掲載し、市民とともに作る広報紙という風になれば、紙面構成もまた少し変わって、内容も充実していくでしょうから、その辺も含めて調査研究して、色々と検討していただくと良いかと思います。

令和6年度外部評価結果

(担当) 建設部 道路河川課

番 号	4
事 業 等 名	道路排水施設整備事業費・流末排水施設整備事業費
事 業 概 要	(道路排水施設整備事業費) 道路法第29条及び第42条の規定に基づき、市道の排水整備を行い排水機能の向上を図り、道路の安全かつ良好な通行ができるよう排水機能を確保する。 (流末排水施設整備事業費) 流末排水整備を行い排水機能の向上を図り、道路の安全かつ良好な通行ができるよう道路排水の流末経路を確保をする。
主 な 意 見	・ 最近、ゲリラ豪雨というわけではないが、雨の規模が大きくて排水が大変だということで、メールでも「通行止めになっている箇所がありますのでお知らせします」みたいな連絡が入るので、早急に対応してもらわなきゃいけないと思います。 ・ 今後は、ますます雨が多くなることが予想されるため、この事業は非常に大切になってくると思うので、予算が必要なのも理解しているが、頑張っって予算を確保してもらって早急に進めてもらいたい。 ・ 市全域の青道をしっかりと整理して、流末が無いところは条件を整えば払い下げをすとか、将来的には流末として必要なところは、水路の整備計画も考えられるわけだから、そういう風に水路の整備をやった方が良くと思います。 ・ 実住小学校は、構造上で大雨時は雨水が学校に流れるように造ってあるということですが、それだと果たして避難所として機能するのかという疑問がある。校庭を雨水調整に使うのであれば、大雨時の学校や子どもに対する影響をどうするのか、あるいは避難所になっているところにどういう風に行けばいいのかなども同時に考えていくべきで、「それは自分たちの所管ではありません」では困る。 ・ 全体の整備計画がないというのはおかしいと思うし、なければ困るものだと思う。予算がこのくらいかかりますとか、こういうところに問題があるということを表に出さないで、自分たちだけがわかっているような形では物事は進まないと思うので、まさに行政の仕事の仕方に問題があるのではないかな。 ・ 計画、実施、評価するという流れがやっぱり事業には必要だと思う。

事業の方向性	☒ 事業継続 (☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☒ 見直し・改善 ☐ 縮小)
	☐ 事業廃止・休止
	☐ 事業完了
事業の方向性に関するコメント	実質的なことを考えると、もっと拡充して整備に努めていただきたいというところですが、この事業のあり方、これまでの進め方ということであると、見直し・改善が必要で、計画的に進めるところと、通常の実備と、それから近年の気候変動に伴う新たな対応とは多分別の話だと思ひますが、そうすると、どういふ優先順位で進めていくのかという考え方がないと、無秩序なかたちで整備されることが想定されるので、どういふ方針に基づいて事業を展開していくのかという評価は必要だと思ひます。 また、個々の整備計画はあるとしても、全体的な整備計画が無ければ、実際どこまで整備できているのか、できていないのかという事業全体の進捗状況を管理することもできないので、今後、そう言ったところも見直し・改善を図りながら事業の拡充に努めていただきたい。 ○見直し・改善策 ・主な意見で示した内容。 ・青道の整理とその活用について検討すること。 ・排水（流末）整備の全体計画、方針について検討、立案すること。 ・排水（流末）整備の進捗状況の管理に務めること。

令和 6 年度外部評価結果

(担当) 経済環境部 農政課

番 号	5
事 業 等 名	産業まつり事業費
事 業 概 要	本市の農業・商業・工業を広く紹介するため、農畜産物の共進会・即売会や本市の特産物をPRするためのイベントを開催し、市民・近隣地域住民に対し、農産物・商工業製品を紹介し、地域活動の活性化に繋げ地産地消の拡大を図る。
主 な 意 見	・産業まつりが八街市の総合的なPRになっていることは間違いないと思うが、工業と商業の出店、出品が弱いんじゃないかなと思うところもあるので、もっとPRが必要と思う。 ・参加者が減少しているように感じるので、やはり八街の魅力をどういう風な形でPRしていくかということが大切である。 ・特産品を使ったレシピを広報紙に掲載するなど、農産物と家庭の消費を噛み合わせたPRが非常に良いんじゃないかと思う。 ・一般の市民も参加できる試食会だとか、ピーナッツを安価で販売するとか、展示する側で八街の良さをアピールし、受ける側としては市民がお祭り参加するみたいなことが相まって、八街の良さをPRするというようなことが、今後求められるんじゃないかと思うので、そういう意味で、何か新しい企画というか、新しい考え方を取り入れる必要があるのではないか。 ・生産者もイベントに取り上げられる様な企画があると良いなと思う。 ・産業まつりは、すごい賑わいだなという感動があります。なので、費用面で出店者が負担をしてでも、色々工夫しながら継続していただきたい。 ・場内放送でそれぞれの団体を紹介しているのは、非常に良いと思うので継続してほしい。 ・「里芋」が全国1位と言うことであれば、もっとしっかりとPRしてほしいです。 ・市内外の若者たちに声をかけて、例えば運営の全てをその若者たちにやってもらうというぐらいの新たな層の参加ということも今後の活動に繋がっていくと思う。

事業の方向性	☒ 事業継続 (☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 見直し・改善 ☐ 縮小) ☐ 事業廃止・休止 ☐ 事業完了
事業の方向性に関するコメント	今後のことを考えると、従来どおりのやり方やイベントの開催というだけだと、どうしても規模感は縮小していかざるを得ないということは間違いなく見えていく現実であり、かつては人口も増えていて、経済も安定しているという状況の中では、こうした特産品をPRするという事は相当効果があった。 しかし、今は人口が減少しており、それから消費量も落ちている状況なので、「これだけの良いものを作っている」と言っても、それだけではなかなか普及していかないと思うので、八街市の産業や農作物の資源に付加価値を付けていくという視点を組み合わせて、今後開催していいのかということがすごく問われていると思います。 また、同じ事業費をかけるにしても、もっと若年層など色々な人を巻き込んで、そこからさらに色々な動きが広がっていくものをどんどん仕掛けていかないと、単にイベントだけで終わりというのは次に繋がっていかないので、各方面に動きとして波及していくような仕掛けというものをぜひ検討してほしいと思います。 評価としては、現状維持ではありますが、もっとやり方を工夫して、地方創生に繋がるような産業まつりであってほしいと思います。

令和6年度外部評価結果

(担当) 経済環境部 農政課

番 号	6
事 業 等 名	森林機能対策事業費
事 業 概 要	サンブスギの非赤枯性溝腐病による被害蔓延に伴い、被害木の伐倒・搬出・植栽等を支援するとともに、その他の補助事業についても視野に入れながら森林の持つ多面的機能の維持・増進を図り森林環境の保全に資する。
主 な 意 見	・山林は昔のように林業として材木に使うという話ではないし、跡継ぎもいなくなってしまうから、今後、水源かん養機能を維持するため水源かん養林の管理が重要となっており、それから景観も「八街の八つのまちづくり」があって、その中でも『緑の多い豊かなまち』というような話がありますから、そういう意味で森林は八街市にとって、景観あるいは住みやすい緑の多い街という意味でも重要である。 ・台風の時にスギが倒れて停電になって困ってしまったということも含めて、やはり森林事業の見直しは必要だと感じます。 ・森林整備計画のとおり進めていただきたいし、保安林としてきちんと整備していくということもそのとおりだと思う。 ・安全な地下水質、酸素を発散してきれいな空気、美しい里山、私たちは山林所有者とは別の観点で森林の恩恵を受けて生命を維持している。森林にごみを捨てるのは以ての外。市民みんなで守っていきたい。
事業の方向性	☒ 事業継続 (☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 見直し・改善 ☐ 縮小)
	☐ 事業廃止・休止
	☐ 事業完了
事業の方向性に関するコメント	森林機能対策ということで、基本的には森林を所有されている方の今後の管理というものが、なかなか難しいという中で補助事業をされているというのはよくわかりましたし、まずはとにかく管理をどうしていくのかというのが大きな課題で、そこにある程度のウエイトを置くというのは理解できる話なのですが、それ以上の動きがあまり想定されていないため、森林というものを八街市としてどういう風に活かしていくのかという方向性がないので、そう言ったところを模索しながら、また、「協働のまちづくり」と連動して、森林の持つ地域資源としての価値を生かすため、みんなで森林を守っていこうという形になると良いと思います。